

内閣総理大臣杯第56回日本社会人ゴルフ選手権関西予選

第48回関西社会人ゴルフ選手権予選

【とき】2025年8月7日（木）

【ところ】六甲国際ゴルフ倶楽部・東

＜主催＞スポーツニッポン新聞社

＜後援＞関西ゴルフ連盟、毎日新聞社

＜協賛＞アサヒビール、住友ゴム工業、洋服の青山

ローカルルール

1. アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
2. 修理地は青杭もしくは白線によってその縁を定める。
3. イエローペナルティーエリアは黄杭または黄線によってその縁を定める。レッドペナルティーエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。いずれも線と杭が併用されている場合は、線がその縁を定める。
4. 5番ホールのフェアウェイ左側、8番ホールのフェアウェイ左側にある赤杭に上部が緑の杭によって定められるエリアはプレー禁止区域である。赤緑杭を超えたボールに関しては、ボールの入った位置より2クラブレンジスの範囲内でドロップし、1打罰で救済を受けなければならない。スタンスがかかる場合は、無罰で1クラブレンジスの範囲内でドロップすることができる。
5. ジェネラルエリアにある排水溝はジェネラルエリアにある動かせない障害物とする。
6. 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。球がこのカート道路の上に止まっているか、又はスタンスがかかる場合はホールに近づかず、ニアレストポイントから1クラブレンジス以内に無罰でドロップしなければならない。
7. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
8. 規則10.3aは次のように修正される：プレーヤーはラウンド中に委員会によって指定された者以外をキャディーとして使ってはならない。
ローカルルールの違反の罰：
 - ・そのプレーヤーはそうしたキャディーに援助してもらった各ホールに対して一般の罰を受ける。
 - ・違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般的の罰を受ける。
9. 規則5.5bは次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
10. 規則5.2bは次のように修正される：プレーヤーはラウンド前にコース上で練習してはならない。
11. 危険な状況のためのプレーの中止は、1回の長いサイレンによって伝えられる。その他すべての中止は、短いサイレンの繰り返しによって伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開は1回の長いサイレンによって伝えられる。（規則5.7b参照）
12. 「ゴルフ規則の詳説・ローカルルールひな型G-9」を適用する。

注意事項

1. 練習は指定練習場で行い、打球練習場では備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱（30球）を限度とする。
2. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。なお、部外者のコース内立ち入りは禁止する。
3. 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
4. ローカルルールに追加、変更のあるときは、大会受付場所付近に告示する。
5. コース内は、携帯電話の使用をしないこと。
6. 競技中に発生した疫病や紛失、破損、その他の事故等に際し、主催、協賛、運営、後援、協力等の各団体は一切責任を負わない。
7. ティーマーカーは、一般クラスは緑色、シニアクラスは白色とする。

競技委員長